

- 「進路のしおり」発刊
- 新教育課程入試3年目
- 大学出張講義
- 世界から注目されている日本の大学

進路、AI に聞いていい？

国語科 渡辺 圭太

地球上でもっとも成功した種は何か。

個体数を増やし、世界中に広がることを「成功」と呼ぶなら、答えは牛やニワトリ、あるいは小麦になるらしい。歴史学者のハラリは、「人間が小麦を栽培化したのではなく、小麦が人間を家畜化した」と書いている。人間は家畜を利用しているつもりで、実は家畜のほうが人間を利用して繁栄してきた、というわけだ。ただのレトリックかと思えば、言いかえして妙かもしれない。

AI についても同じ構図が成り立ちそうだ。私たちは AI に情報を整理させ、画像を作らせ、最近では進路や人間関係の相談までしている。けれど、そのたびに、自分の経験や行動、会話はデータとして蓄積されていく。AI を使っているつもりで、同時に AI のために働かされてもいる。しかも AI は、そのデータをもとに「次はこうしたらどうですか」と提案までしてくれる。家畜にはできなかった芸当だ。利用しているのか、利用されているのか、分からなくなる。

とはいえ、AI を道具として認めることは、そんなに難しい話でもないようだ。人間は昔から、能力を自分から切り離して道具に預けてきた。手で切れないものを刃物で切り、腕で持ち上がらないものを機械で動かし、足で届かない場所に車で行く。身体能力がなくなったわけじゃないけど、身体だけで何かをやり遂げる必要は、だんだん減ってきた。でも、車に乗ることを身体能力の敗北とは思わないし、紙に書くことを記憶力の放棄とも思わない。だとすれば、AI に知性を預けることに違和感を覚えなくなる日も、そう遠くないのかもしれない。便利なものほど広がりやすい世の中だから、なおさらだ。

ここまではよくある話。私が気になるのは、AI はもう単なる道具じゃなくなって、「何を指すか」という目的の部分にまで関わり始めている点だ。進路診断は「あなたに向いている職業」をアドバイスしてくれるし、学習アプリは「次にやるべきこと」を並べてくれる。自分で選んでいるつもりでも、実はアルゴリズムが用意した選択肢の中で選んでいることが多い。選ぶ自由は残っていても、選択肢を決める自由は、もう手元にないのかもしれない。

これからの進路選択で大事になってくるのは、自分の進みたい方向が何によって作られているのか、を立ち止まって問い直すことなんじゃないかと思う。なぜその大学なのか、なぜその職業なのか。自分の意志とか適性とか能力が、何によって形作られているのか。

もちろん、何の影響も受けずに目的を見つけることなんてできない。そんなことは、おそらく誰にもできない。親、学校、友人、社会の評価、将来への不安、そして AI の提案。いろんなものを受けながら、私たちは決めている。だからこそ大事なものは、自分が何に影響されているのかを確かめたうえで、その目的を引き受けるのか、修正するのか、却下するのかを自分で選び直すことなんだと思う。選んだ理由は、今すぐ言葉にできなくてもいい。自分の経験や違和感、憧れ、失敗、誰かとの出会い。そういうところから出てくる理由だけは、どれだけ AI が発達しても、自力でたどっていくしかない。

AI 時代に問われるのは、もっともらしい目的地に向かって進む力じゃなく、自分がなぜそこに向かいたいのかを、何度でも問い直す力だと思う。【次のページの QR コードは渡辺先生の論考に関する追加資料です。】



ユヴァル・ノア・ハラリ公式サイト
歴史学者ユヴァル・ノア・ハラリの公式サイト。人類史、文明、テクノロジーと人間の未来を論じる発信拠点。



Harvard Gazette (ズボフ)
ハーバード大学の公式ニュース媒体。シヨシヤナ・ズボフへの取材を通して、「監視資本主義」の考え方を紹介する記事。



arXiv：推薦システムと自律性
arXiv掲載の研究論文。推薦アルゴリズムが人間の選択・行動・自律性に与える影響を倫理的に検討する資料。



UNESCO：AI時代の教育と主体性
ユネスコの解説記事。AI活用が進む教育のなかで、人間の主体性や判断力をどう守るかを考える資料。

○「進路のしおり」発行

2026年度用の「進路のしおり」が出来上がりました。すべての学年にとって知っておくべき内容が凝縮されて載っています。1年間大切に、折に触れて読み返しましょう。

1年生は「進路の決め方」「大学入試のしくみ」をしっかり読んで、進路の基本の考え方を学んでください。また、「調査書について知ろう」を読むと、1年次からの成績がいかに大事かよく分かります。高校受験では中学3年生の成績が重要でしたが、大学受験では高校1年生からの成績がすべて調査書に反映されます。あとで頑張っても取り返せないものがあるということを肝に銘じておきましょう。

2年生は「進路の決め方」「大学入試のしくみ」「一般入試日程」を読み、来年度に備えましょう。また、「合格体験記」を読むことで、2年生での学習を後悔なきものへのヒントが見つかります。

3年生はしおりの隅から隅までを熟読して、受験に向けた心構えを作ってください。中でも「合格体験記」は、新宿高校で学んだ先輩たちの貴重な体験が記されています。愛する母校の後輩たちのために、包み隠さず書いてくれています。そんな思いをしっかりと受けとめ、皆さんの糧としてください。

○新教育課程入試3年目

一昨年度より「新課程入試」が始まりました。共通テストでは、昨年度と一昨年度以前とで配点や試験時間が異なります。過去問を解く際は注意してください。

(1) 共通テスト

表1 出題教科・科目の選択範囲及び試験時間

教科	出題科目	試験時間
国語	『国語』	90分
地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合/歴史総合/公共』	1科目選択 60分 2科目選択 130分 (うち解答時間 120分)
公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合/歴史総合/公共』(再掲)	
数学	① 『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』	70分
	② 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	70分
理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	1科目選択 60分 2科目選択 130分 (うち解答時間 120分)
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	『英語』 【リーディング】80分 【リスニング】60分 (うち解答時間 30分) 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 【筆記】80分
情報	『情報Ⅰ』	60分

2科目選択時の組合せパターン(○が付く組合せのみ可)

	地理総合/歴史総合/公共			地理総合/歴史総合/公共			公共、倫理	公共、政治・経済
	地理総合、地理探究	歴史総合、日本史探究	歴史総合、世界史探究	地理総合/歴史総合	地理総合/公共	歴史総合/公共		
地理総合、地理探究	○	○	○	×	×	○	○	○
歴史総合、日本史探究	○	○	○	×	○	×	○	○
歴史総合、世界史探究	○	○	○	×	○	×	○	○
地理総合/歴史総合/公共	地理総合/歴史総合	×	×	×	×	×	○	○
	地理総合/公共	×	○	○	×	×	×	×
	歴史総合/公共	○	×	×	×	×	×	×
公共、倫理	○	○	○	○	×	×	×	×
公共、政治・経済	○	○	○	○	×	×	×	×

地歴公民を2科目受験する場合は、公民2科目の組合せ、「地歴総合/歴史総合/公共」で選択した科目と同一名称を含む科目の組合せは不可。

(2) 個別学力試験(一般入試)

・数学の出題科目、範囲

国立大の文系学部はⅠ・Ⅱ・A・B・C(ベクトルのみ)、理系学部はⅠ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C(ベクトル・平面上の曲線と複素数平面)が多い。

私立大の文系学部はⅠ・Ⅱ・A・B・C(ベクトルのみ)が最大の範囲(これより少ない大学・学部もある)

理系学部はⅠ・Ⅱ・A・B・C(ベクトル・平面上の曲線と複素数平面)が最大の範囲(これより少ない大学・学部もある)。旧課程での出題範囲を継続する大学が多い。

・地歴公民の出題範囲

地歴、公民は大学・学部により、○○総合を含む/含

まない、公共を含む／含まないが異なるので、自分が受験を考えている大学・学部の科目をよく調べること。

○大学出張講義

2年生全員を対象に、東京大学の先生による出張講義があります。詳細は以下の通りです。

日時 7月8日(水) 14:15~15:45
場所 視聴覚室
講師 上野 博史(うえの ひろし)先生
東京大学大学院 工学系研究科 講師
内容 「体の中で回転する分子機械: ATPをつくるナノモーターのしくみ」

2年生が対象ですが、興味のある1, 3年生は教室掲示の案内を確認し、事前に参加申込をしてください。

○世界から注目されている日本の大学

ややもすれば日本にいと海外の大学はすごい、留学しなければいけないんじゃないかと思うことあると思いますが、日本の大学もけっこう世界から注目されています。今回は世界から注目されている日本の大学の分野をいくつか取り上げてみたいと思います。

物理学・天文学：世界をリードする超エリート

東京大学(世界トップ10常連)、京都大学、東北大学など。

伝統的にノーベル賞受賞者を多く輩出している分野です。宇宙の謎に迫る素粒子物理学や、次世代の超高速コンピューターにつながる「量子力学」の研究は世界を牽引しています。

材料科学：現代のテクノロジーを支える「素材」の国

東北大学、東京工業大学(現・東京科学大学)など
スマートフォンの画面、電気自動車のバッテリー、飛行機のボディなど、世界中の最先端製品は「日本の優れた素材」がないと作れません。新しい性質を持つ金属やプラスチックの開発において、日本の大学は世界から常に注目されています。

生命科学・医学(iPS細胞など)：未来の医療をつくる

京都大学、大阪大学、東京大学など

世界に先駆けて開発されたiPS細胞(人工多能性幹細胞)をはじめとする「再生医療」や「ゲノム編集」の分野では、日本の大学病院や研究所が世界最先端の臨床研究を行っています。

人文学(歴史・哲学・東アジア研究)：アジア研究の世界的な中心地

東京大学、京都大学、筑波大学など

日本やアジアの歴史・思想・文学において、日本のトップ大学は世界最高峰の資料と研究環境を持っています。海外の超名門大学(ハーバード大やオックスフォード大など)で日本・アジア研究を志す学生が、こぞって留学に訪れるのがこれらの大学です。

近代社会学・ポピュラーカルチャー研究：世界を魅了する「コンテンツ」を学問にする

立命館大学、早稲田大学、明治大学など

アニメ、ゲーム、マンガといった日本のポップカルチャーを、社会学やメディア論、経営学の視点から紐解く研究は世界から大注目されています。例えば立命館大学には世界最大級のゲーム研究センターがあり、海外の研究者からも高く評価されています。

国際政治・開発経済学：アジアの視点から世界を動かす

一橋大学、上智大学、国際基督教大学(ICU)など

欧米中心の視点ではなく、アジアや発展途上国のリアルな視点から国際関係や経済発展を考える学問です。国連機関や国際NGOのトップ、グローバル企業のリーダーを目指す国内外の優秀な学生が集まっています。

※今後の予定(進路関係)

6月25日(水) 指定校推薦・学校推薦型・総合型
選抜大学入試の説明会(3年生)

7月4日(金) 共通テスト出願変更点の説明
(3年生)

7日(火) 進研模試
(全学年 3年生は8日AMまで)

8日(水) 大学出張講義(2年生)

「将来の夢に向かって今できることを全力で」

東京医科大学 呼吸器・甲状腺外科学分野 教授

1983年卒業（新35回生） 大平 達夫

新宿高校の後輩の皆さんへメッセージを書く機会をいただき、大変光栄に思います。私は現在、東京医科大学呼吸器・甲状腺外科学分野で教授を務めております。

私の家系に医師はおらず、親族にも医療関係者はいませんでした。それでも医師を志した原点は、幼い頃に祖母を肉腫で亡くした経験にあります。祖母は私の小学校入学を楽しみにランドセルを買ってくれましたが、入学式には入院中で出席できず、その翌日に亡くなりました。祖母の病気を治したいという思いが、医師を目指すきっかけとなりました。

その後も医師になることを将来の夢として抱いていましたが、新宿高校に入学してから医学部進学の大変さを知り、自信を失いかけたこともありました。そんな時、授業で将来の夢を語る機会がありました。当時の私の成績では医学部合格は決して容易ではありませんでしたが、「堂々としていて良い」と担当の先生に励ましていただいたことを今でも鮮明に覚えています。夢を口にし、誰かに背中を押してもらうことの大切さを実感した出来事でした。

私は1年間の浪人生活を経て、東京医科大学医学部医学科に進学しました。入学後は周囲に負けまいと勉学に励み、「一度きりの人生だからこそ、悔いのないように挑戦したい」と考えて外科の道を選びました。医師になった当初は、難しい手術を自分が担う姿など想像もできませんでしたが、目の前の課題に全力で取り組み、一つひとつの目標を乗り越えることで少しずつ成長することができました。

私の専門は呼吸器外科で、特に肺癌の診療と研究に取り組んできました。若い頃には国立がん研究センター研究所で研究に携わり、多くの英語論文を読みながら、肺癌の治療や病態の解明に取り組みました。その過程で、化学などの基礎知識や英語力の重要性を痛感しました。「高校時代にもっと勉強しておけばよかった」と思うことも少なくありませんでした。高校で学ぶ内容は、その時には意義を実感しにくいかもしれませんが、その積み重ねは必ず将来の力になります。

また、2001年から2002年にかけて、私は米国コロラド大学へ留学する機会を得ました。研究そのものは日本で行っていたことの延長線上にありましたが、英語で自分の考えを伝え、議論することの難しさを痛感しました。一方で、米国の優れた点に触れるとともに、日本の良さを改めて見つめ直す貴重な経験にもなりました。異なる環境に身を置き、新しいことに挑戦する経験は、人を大きく成長させてくれます。

振り返ってみますと、高校時代に将来を明確に見通せていたわけではありません。しかし、どのようなことにも真剣に取り組む姿勢は、その後の人生につながっていきました。

後輩の皆さんも、ぜひ目の前のことに全力で取り組み、自分の可能性を信じて挑戦を続けてください。一步一步の積み重ねが、それぞれの大きな夢の実現につながることを心から願っています。

（同窓会のご協力を得て「先輩からの言葉」を掲載しています。）

